

公共事業等施行状況調（令和4年11月末）

県分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (11月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		4年度 C	C/A	3年度 D	D/B	
		4年度	3年度	4年度 A	3年度 B					
1	治山・治水	24,119	26,237	17,079	17,006	14,182	83.0	12,785	75.2	
2	農林・水産	33,315	33,546	25,680	25,748	21,533	83.9	20,612	80.1	
3	道 路	59,950	58,538	39,347	37,599	29,355	74.6	31,230	83.1	
4	港湾・空港	8,149	7,164	3,980	3,453	2,650	66.6	2,801	81.1	
5	下水道・公園	9,396	9,647	2,329	2,400	994	42.7	1,963	81.8	
6	住 宅	1,489	2,513	1,052	2,085	900	85.6	1,251	60.0	
7	庁 舎	2,467	3,609	2,315	3,342	1,891	81.7	1,859	55.6	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	4,047	19,173	2,780	15,607	1,807	65.0	6,798	43.6	
11	工業用水・上水道等	950	1,034	83	106	78	94.0	96	90.6	
12	災害復旧	808	298	663	290	381	57.5	367	126.6	
13	その他	7,424	8,966	4,258	6,507	2,928	68.8	4,724	72.6	
	計	152,115	170,724	99,566	114,145	76,701	77.0	84,485	74.0	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和4年11月末）

（単位：社、件、百万円、％）

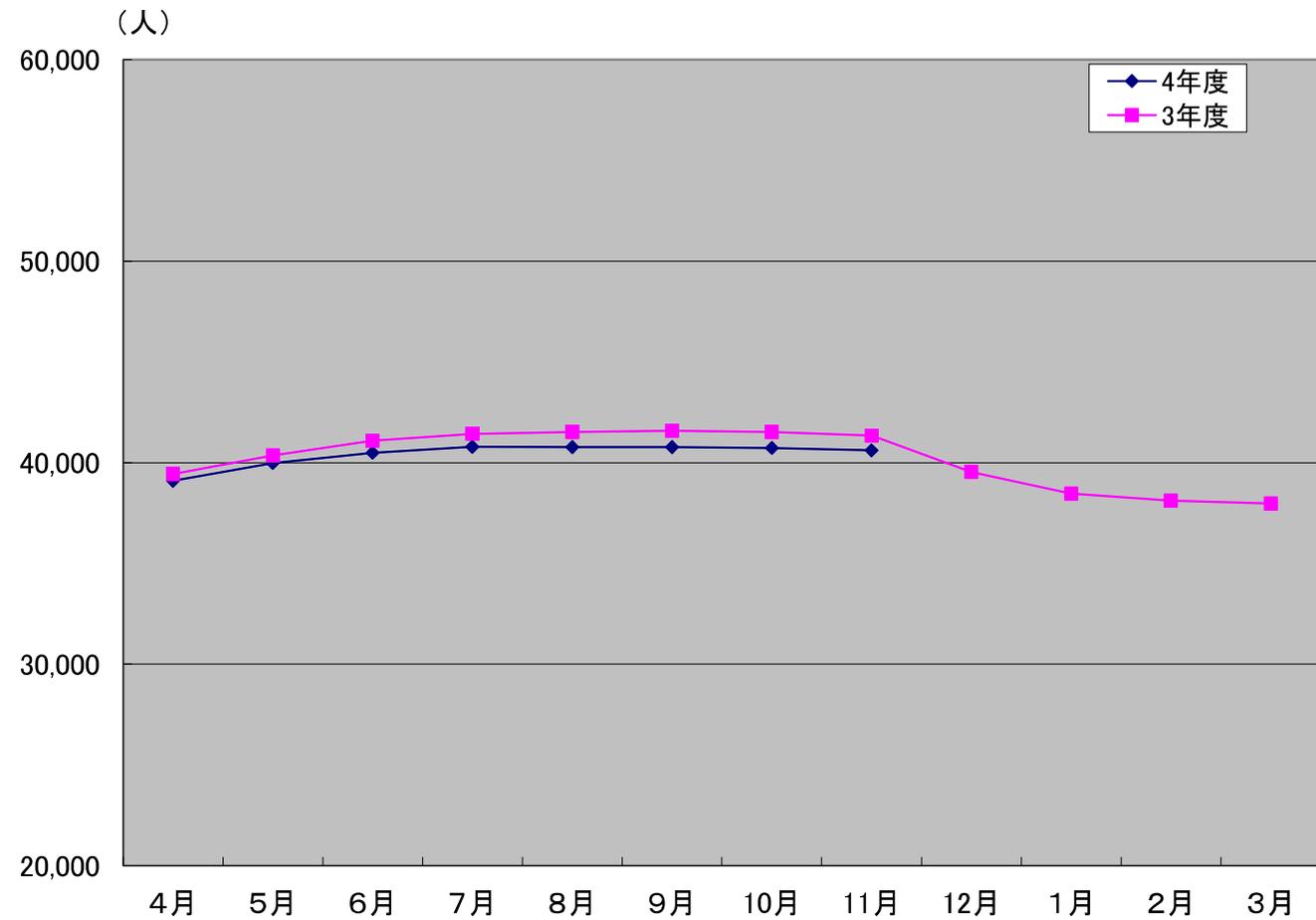
事項	予算措置額		発注実績											
	(A)		合計 (B)			県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)		
区分	事業費	本工事費	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額
4年度	152,115	99,566	22,244	2,180	76,701	21,721	2,085	69,472	481	81	4,085	42	14	3,144
					77.0	97.6	95.6	90.6	2.2	3.7	5.3	0.2	0.6	4.1
前年度比	89.1	87.2	87.3	85.4	90.8	87.2	85.5	93.4	99.4	88.0	84.1	58.3	70.0	60.4
3年度	170,724	114,145	25,470	2,552	84,485	24,914	2,440	74,417	484	92	4,859	72	20	5,209
					74.0	97.8	95.6	88.1	1.9	3.6	5.8	0.3	0.8	6.2

被保険者数

	4年度	3年度
4月	39,104	39,424
5月	39,983	40,359
6月	40,493	41,085
7月	40,790	41,421
8月	40,778	41,521
9月	40,773	41,577
10月	40,728	41,516
11月	40,608	41,333
12月		39,528
1月		38,465
2月		38,115
3月		37,973

前月末被保険者数	40,728
資格取得者数	412
資格喪失者数	531
転入者数	0
転出者数	1
今月末被保険者数	40,608

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)11月末



建設資材の需給・価格動向調査 (4年12月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前 月 比 (%)							
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	15,400	0.0	15,400	0.0	15,400	0.0	15,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	560	0.0	560	0.0	560	0.0	560	0.0	22,400円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,000	0.0	13,600	0.0	16,000	0.0	14,200	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,300	0.0	3,200	0.0	4,500	0.0	3,667	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,000	0.0	3,900	0.0	4,700	0.0	4,200	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	3,500	0.0	3,200	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	116,000	0.9	116,000	0.9	116,000	0.9	116,000	0.9	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	103,000	-1.9	103,000	-1.9	103,000	-1.9	103,000	-1.9	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	121.0	0.0	121.0	0.0	121.0	0.0	121.0	0.0	121,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	82.0	0.0	82.0	0.0	82.0	0.0	82.0	0.0	82,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	2,250	0.0	2,250	0.0	2,250	0.0	2,250	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	129,000	0.0	129,000	0.0	129,000	0.0	129,000	0.0	

建設資材の需給・価格動向調査 (4年12月)

	需給動向								価格動向								備 考		
	青森		弘前		八戸		県平均		青森		弘前		八戸		県平均				
	緩 和	均 衡	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定		下 落							
セメント																			普通ポルトランド(バラ)でトン当たり15,400円と前月比変わらず。10月の青森県内の販売量は3万7千トン(協会調べ)で前年同月比0.2%増。メーカー各社は石炭価格の高騰などを受け3,000円以上の値上げを打ち出し、販売価格の引き上げを急いでいる。しかし、主な需要家の生コンメーカーは、1年に満たないなかでの再値上げに対し慎重な姿勢を崩しておらず、交渉に進展は見られない。メーカー各社は粘り強く交渉を続ける意向だが、本格化には時間を要しそう。先行き、横ばいの公算大。
コンクリート製品																			道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加している。10月からのセメントの追加値上げ表明を受け、製造コスト増による採算悪化に危機感を募らせているメーカー各社は、値上げの上積み求め交渉を継続している。各社は今後、売り腰をさらに強め、需要家と交渉を進める構え。先行き、強含みの公算が大きい。
生コンクリート																			県内の11月の出荷量は6万1千m3(生コン工組調べ)で前年同月比9.3%の増。県内全体の生コンの商状は盛り上がり欠いている。セメントや骨材などの追加値上げ要請があるなか、各メーカー値上げの浸透を目指し、強腰で交渉を継続。安定調達を優先する一部の需要家が理解を示しており、目先、強含みの見通し。
砕石																			生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。一部メーカーは、原油高やダンプトラックのひっ迫による輸送コストの増加を受け追加値上げの交渉をしている。需要家は短期間でのさらなる値上げに対して、慎重な姿勢であるものの、社会情勢の変化に理解を示し受け入れる動きも見られる。両者の歩み寄りが見え、先行き、強含みの見通し。
小 棒																			SD295・D16でトン当たり116,000円と前月比1,000円の上伸。原油やガスのエネルギー価格高騰による電力料金の上昇を背景に、メーカー各社は値上げを実施。需要家は海外相場の影響から原料の鉄スクラップ価格が下落していることを背景に、急激な値上げに難色を示している。しかし、流通筋が採算確保に向けて売り腰を強めたことで、値上げ額の一部が浸透した。メーカーと流通筋は、今後も値上げ未達分の早期浸透に向けて強い販売姿勢を維持する構え。目先、強基調の公算が大きい。
アスファルト																			11月の県内出荷量は8万トン(合材協会調べ)で前年同期比3.1%の減。一部のメーカーは、エネルギー価格上昇に伴う製造コストの増加を価格転嫁すべく、追加値上げの交渉を続けている。一方、ストアス価格に先安観が出ており、需要家はさらなる値上げの受け入れには難色を示している。供給側と需要家の交渉は、こう着状態が続くと見方が強い。目先、横ばいで推移する公算が大きい。
木 材																			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり103,000円と前月比2,000円の下落。5カ月続落だが下落幅は前月より縮小した。10月の県内新設住宅着工戸数は454戸で前年同月比7.3%の減少(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比19.2%の減少、それに次ぐ貸家が同31.3%の増加などとなっている。建設費の高騰を背景に建築着工の低迷が続く、流通在庫が増加しているため輸入材、国産材とも需給緩和の状況。先行き、弱基調が続くそう。
油 類																			軽油はミニローリー渡しでリットル当たり121円、重油はローリー渡しでリットル当たり82円とともに前月比変わらず。原油相場は、中国の新型コロナウイルス再拡大による需要減退懸念が広がる中、燃料油価格激変緩和対策により元売りの実質仕切価格の変動は抑えられている。主要産油国が減産を維持するなか、対ロシア制裁が始まり市場は混沌を極めている。目先、横ばいの見通し。
型枠合板																			12×900×1,800mm輸入品で枚当たり2,250円と前月比変わらず。現地の原木不足や労働者不足により入荷量が減少しているが、実需の停滞により不足感はない。現地価格が高止まりしているため、流通筋は仕入れコスト増を販売価格に上乗せしたい意向だが、引き合いが低調で売り腰を強められずにいる。需給の引き締めに向け、輸入商社が注水量を減らし供給量がさらに減少するものと予想されるが、需要家に買い急ぐ様子は見られない。先行き、横ばい推移の公算大。
形 鋼																			200×100でトン当たり129,000円と前月比変わらず。スクラップなどの原料は下落傾向にあるが、電力料金の上昇など、製造コスト増を背景に、主力メーカーは価格優先の販売姿勢を崩していない。流通各社は採算確保に向け、値上げ未達分を転嫁したい意向にあるが、荷動きが低迷するなか、交渉に進展は見られない。今後、需要や原料価格の動向に大きな変化はないとの見方が大半を占めている。需要家は当用買いの姿勢で、盛り上がり欠く商状が続くと予測される。目先、横ばいの公算大。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

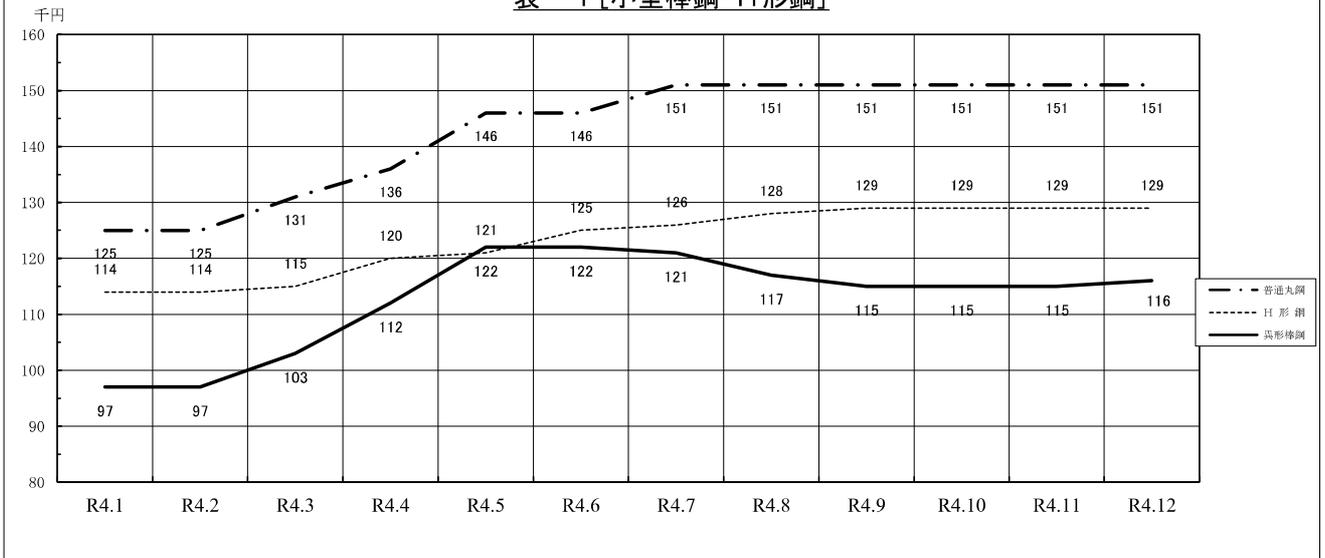


表-2 [セメント・生コン]

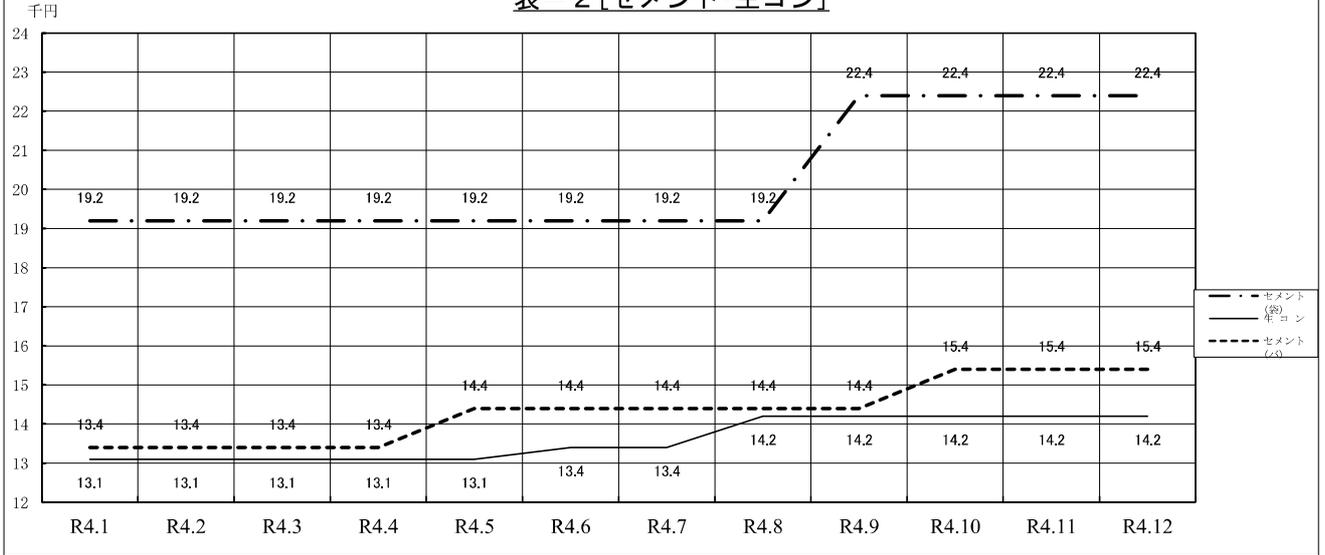
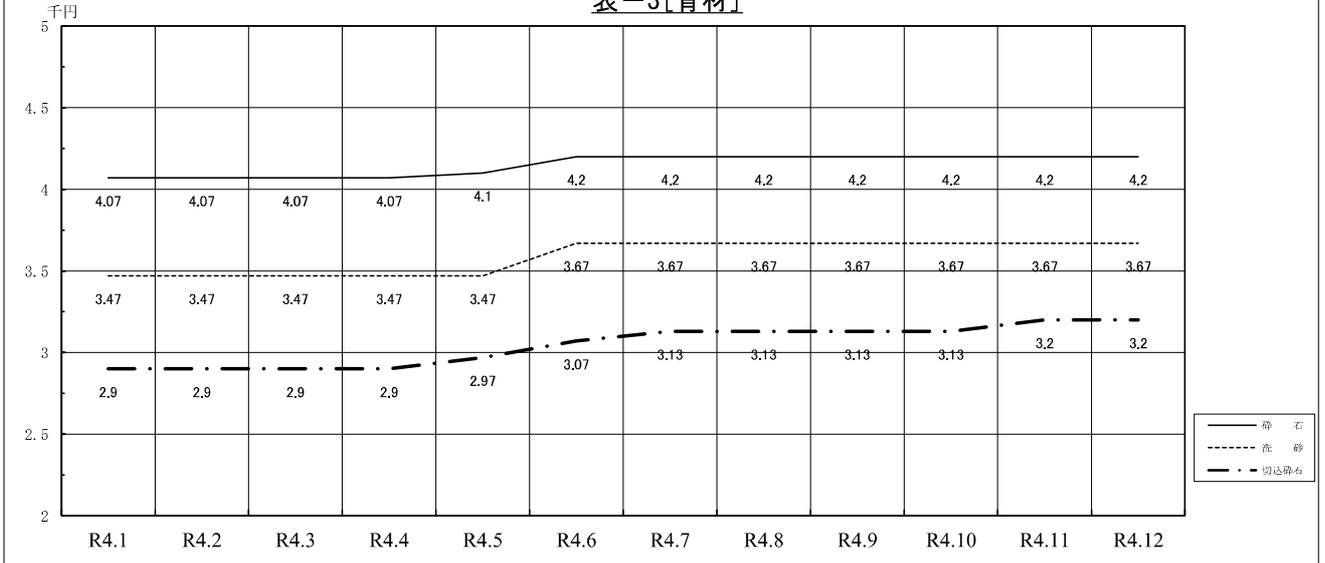


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

